

2014年3月期決算

(2013年4月～2014年3月)

2014年4月30日

KDDI株式会社

代表取締役社長 田中 孝司




本日ご説明する内容

- 1. 2014年3月期業績**
 - 2. 2015年3月期業績予想**
 - 3. 新たな成長ステージを目指す**
- ◆ **Appendix**

この配付資料に記載されている業績目標及び契約数目標等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは 経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績及び契約数は、この配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

1. 2014年3月期業績

16.3期に向けた初年度



14.3期～
16.3期

“本格的な利益拡大へ”

13.3期

“成長起点”

～3M戦略の本格展開

12.3期

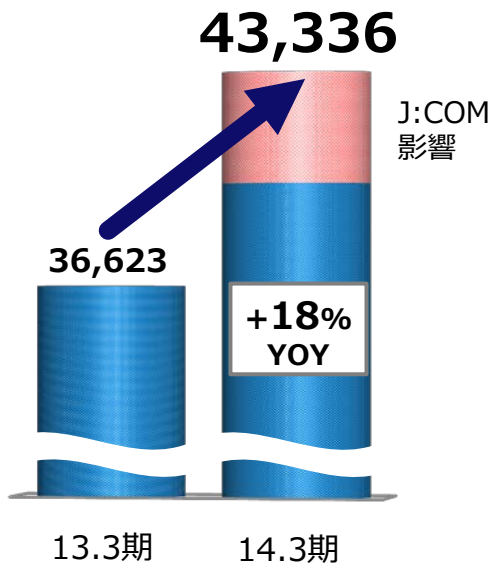
“基盤事業の立て直し”

～auモメンタムの完全回復

営業収益・営業利益・EBITDAにおいて2桁成長を達成

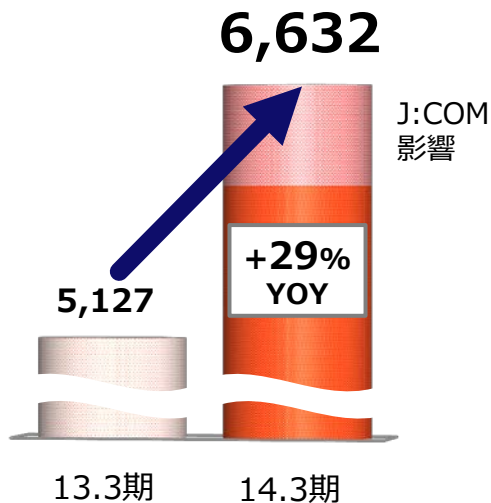
営業収益

(億円)



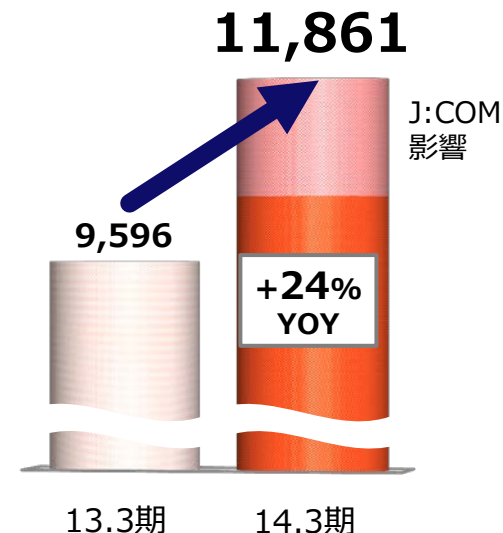
営業利益

(億円)



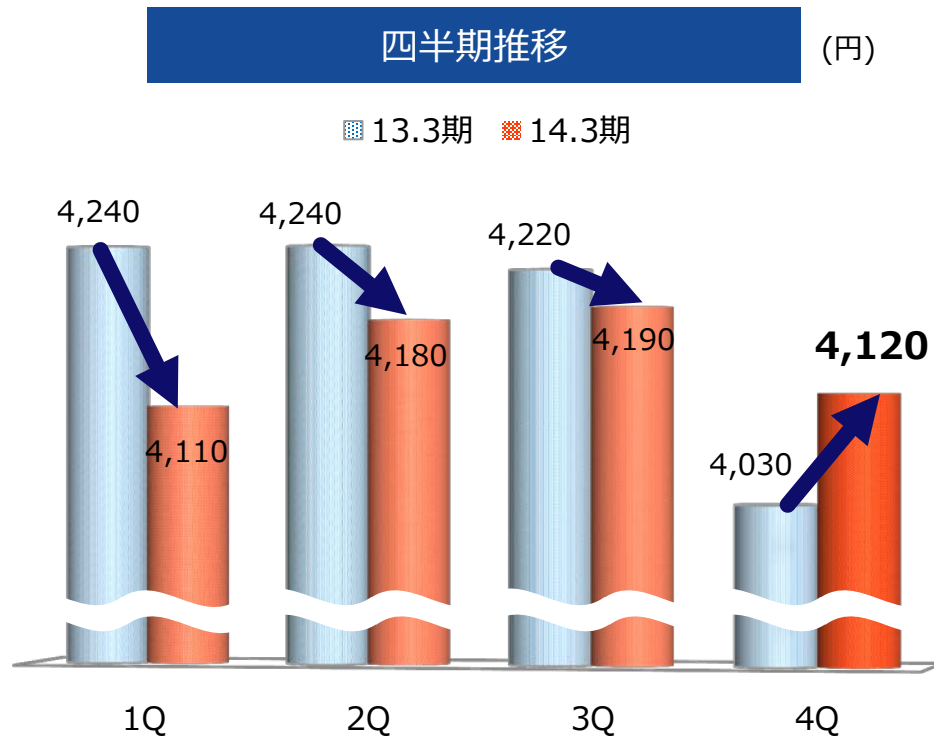
EBITDA

(億円)



au通信ARPU

4QにYOY反転

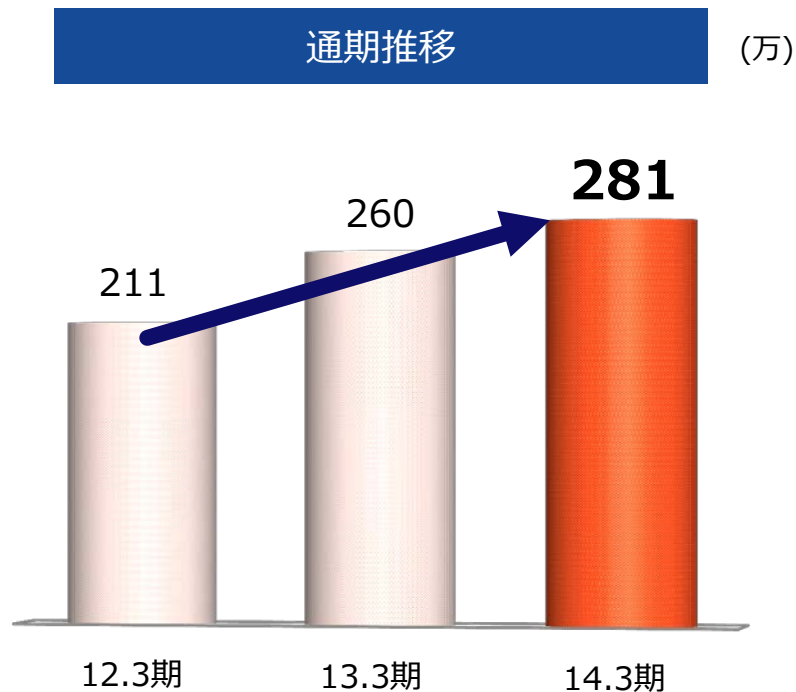


*au通信ARPU=[音声(割引前)]+[データ]-[割引適用額]

au純増数

281万の純増を達成

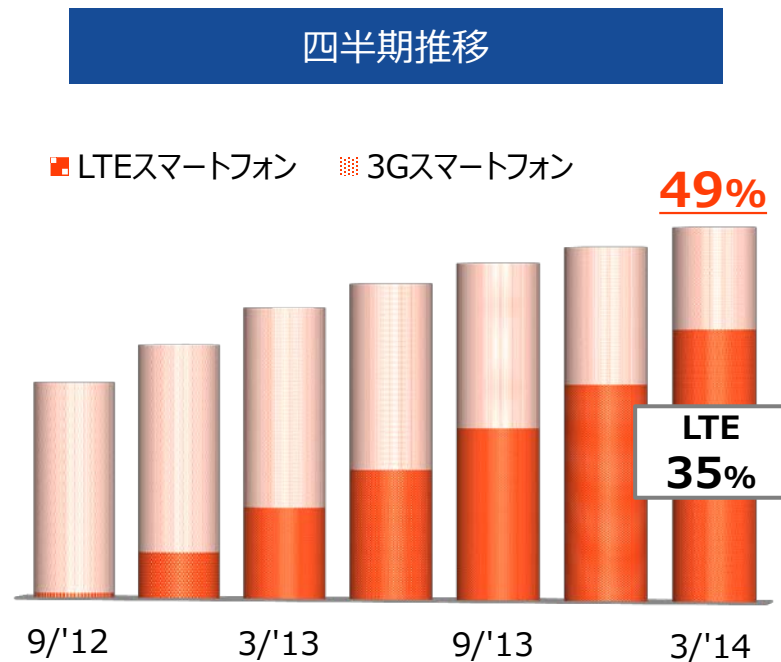
累計ベースでは、
YOY +7.5%の拡大



スマートフォン浸透率^注

49%まで浸透

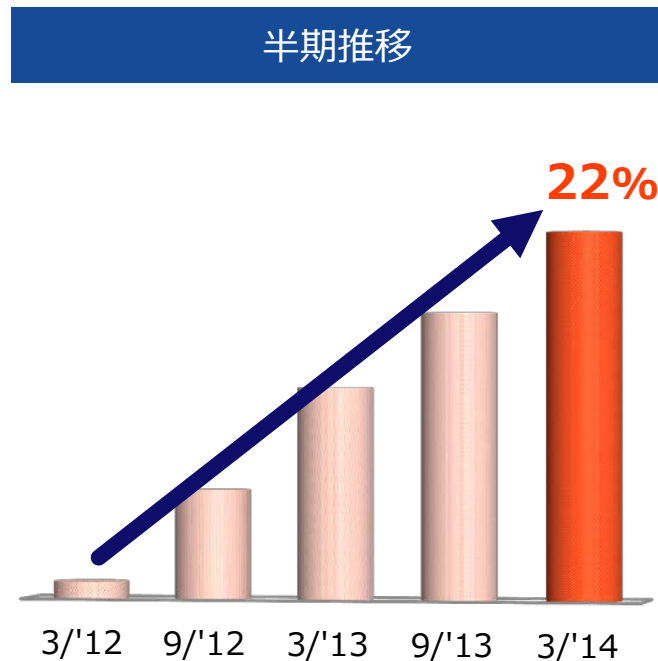
LTEは35%まで浸透



注) (au LTEスマートフォン+au 3Gスマートフォン) ÷ (au契約数からデータ専用端末、タブレット、モバイルを除く)

auスマートバリュー 浸透率^注 (モバイル)

22%まで浸透



注) (auスマートバリュー契約数 (モバイル)) ÷ (au契約数からデータ専用端末、Eメールを除く)

au 4G LTEネットワーク

実人口カバー率^{注1}99%をいち早く達成^{注2}

実人口カバー率

au 4G LTE 800MHzプラチナバンド^{注3}

2014年3月14日

99%達成

A light gray map of Japan is positioned behind the '99%達成' text, indicating the geographical area covered by the service.

通信速度

au 4G LTE 800MHzプラチナバンド^{注3}

受信最大速度^{注4}

75Mbps

送信最大速度^{注4}

25Mbps

注1) 全国を500m四方に区分したメッシュのうち当社サービスエリアに該当するメッシュに含まれる人口の総人口に対する割合 注2) 800MHzプラチナバンドにおける実人口カバー率。各社エリアマップを元に当社にて調べた結果に基づく

注3) 対応機種：4G LTE対応のAndroid™、iPhone 5s、iPhone 5c、iPad Air、iPad mini Retinaディスプレイモデル

注4) 一部エリアでは受信最大37.5Mbps/送信最大12.5Mbps、またはそれ以下となります。記載の速度は技術規格上の最大値であり、実使用速度を示すものではありません。お客様のご利用環境、回線の状況により大幅に低下する場合があります。(ハートマーク)

新たな商材を料金プランの強化とともに拡販

(1) auスマートバリューmine

2年契約の場合スマートフォンの料金から
【受付期間】2013年11月12日～2014年8月31日^{注1}

934円^{注1}/月割引



Wi-Fi WALKER
Wimax 2+^{注2}



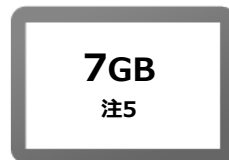
auスマートフォン^{注2}

(2) 先取り! データシェアキャンペーン

【受付期間】2013年9月20日～^{注3}

タブレット基本料金 最大2年間

1,000円^{注4}/月



7GB
^{注5}



7GB

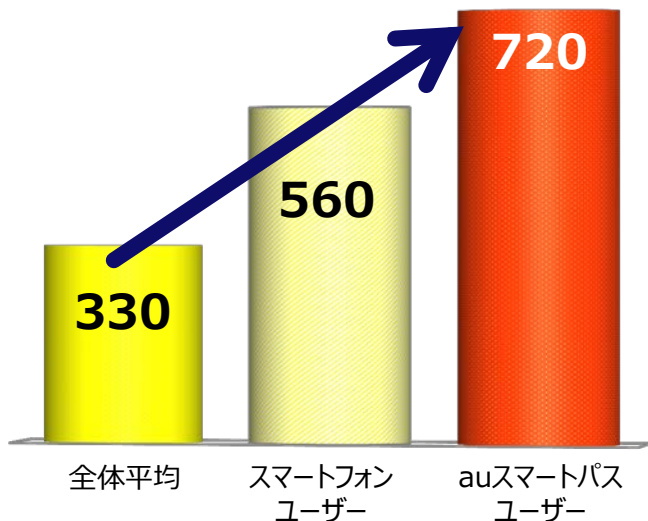
4G LTE タブレット^{注2}

auスマートフォン^{注2}

*表記の金額は全て税抜。別途、ルーター・スマートフォン・タブレットの利用料金がかかります 注1) 受付期間中にお申し込みの場合、3年目以降、743円/月の割引。受付期間以降、743円/月の割引となります
注2) 指定のポケット通信サービスに加入 注3) キャンペーン受付終了時期については、事前にお知らせいたします 注4) 3年目以降、2,850円/月 注5) データシェア開始後は2GBとなります

auスマートパスを核に、各種サービスの利用を促進

付加価値ARPU (14.3期4Q) (円)

うたパス
(300円/月)ビデオパス
見放題プラン
(562円/月)ブックパス
読み放題プラン
(562円/月)

アップセル

auスマートパス (372円/月)

1,000万会員突破 (2014年3月17日)

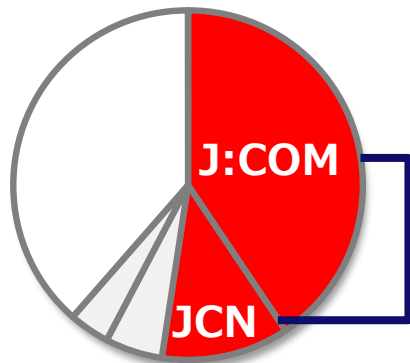
*表記の金額は全て税抜

J:COMとのクロスセル推進に向けて

(1) 新J:COM誕生と、(2) auスマートバリューの適用拡大により、 両社のクロスセルをスピードアップ

(1) J:COM/JCN統合

2014.4 J:COMによるJCNとの合併
2014.6 (予) J:COMブランドへサービス統合

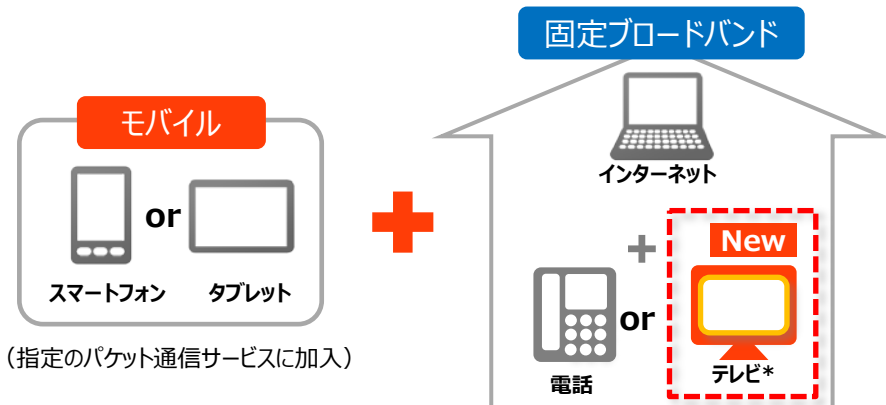


新J:COM

多チャンネルサービスシェア

53%

(2) auスマートバリューの適用条件拡大



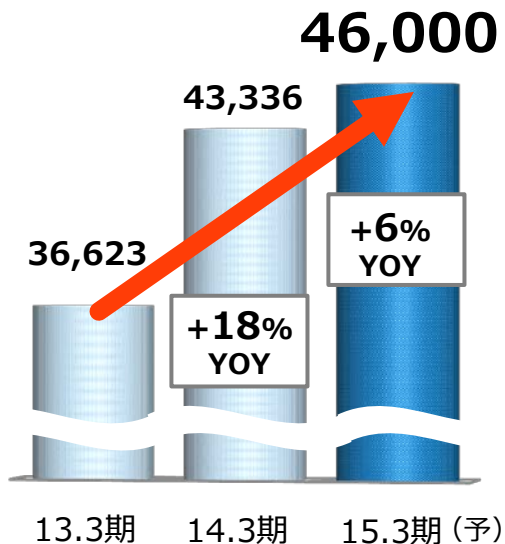
「インターネット」+「テレビ」をご利用のお客様に
適用条件を拡大（2014年3月より受付開始）

2. 2015年3月期業績予想

連結営業利益、2期連続2桁成長を目指す

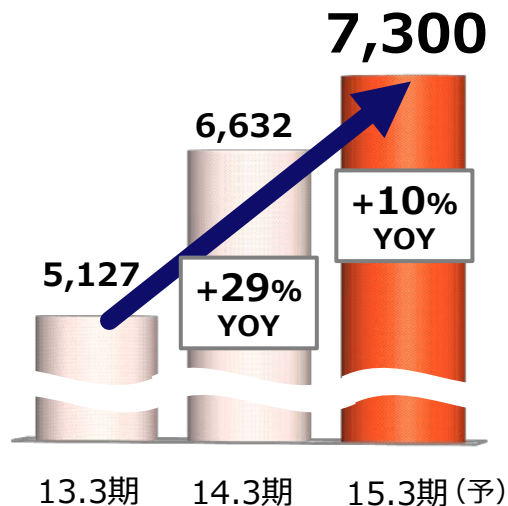
営業収益

(億円)



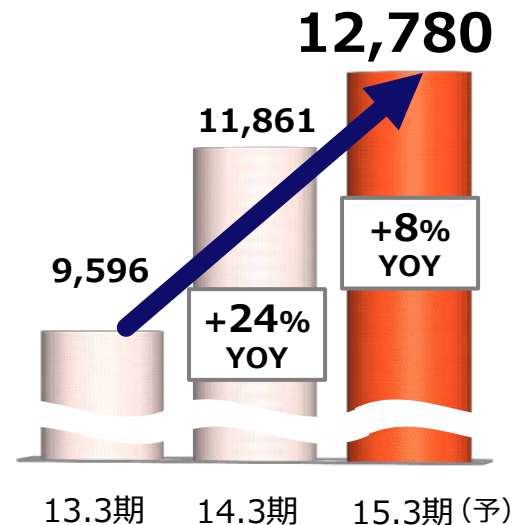
営業利益

(億円)



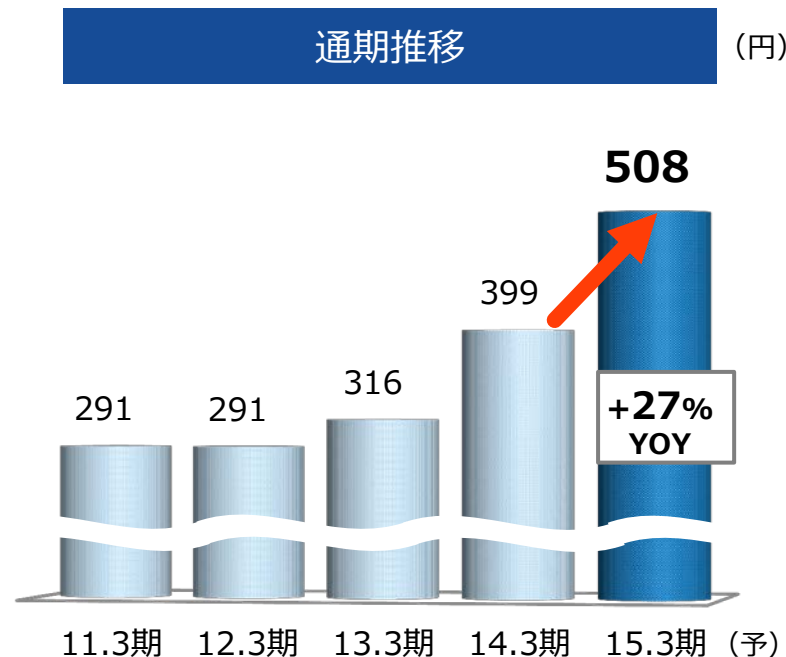
EBITDA

(億円)



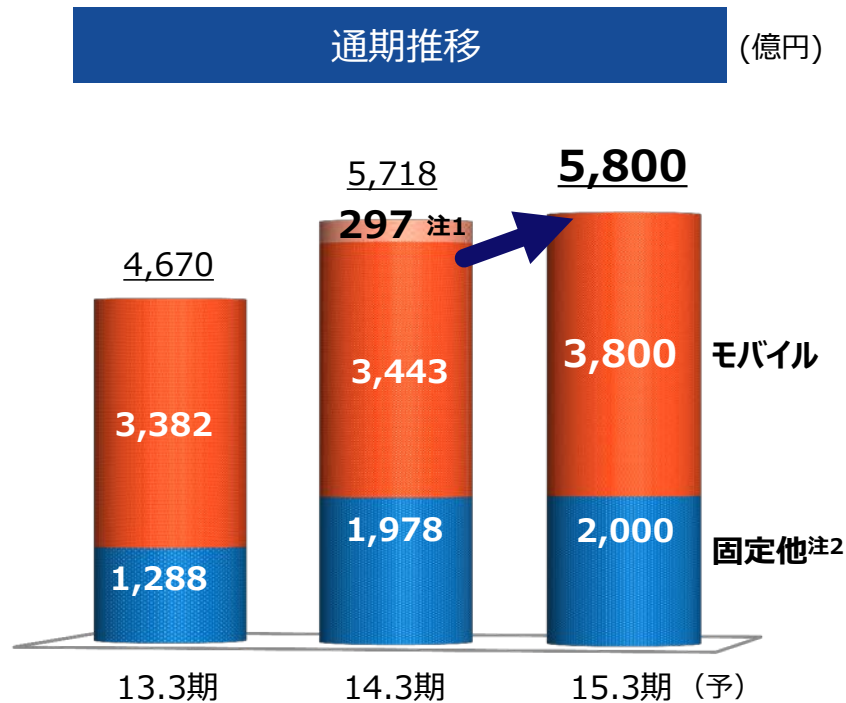
1株当たり当期純利益 (EPS^注)

YOYで+27%成長



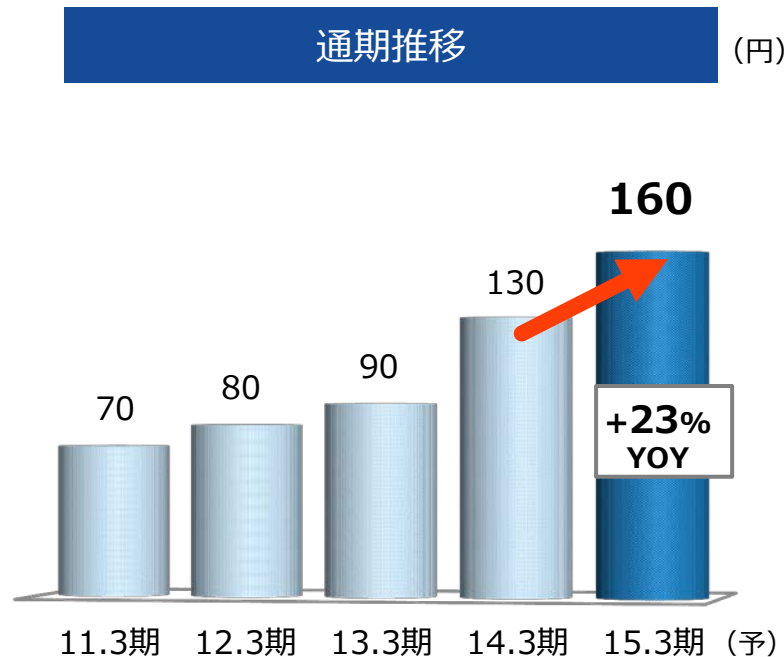
設備投資

15.3期は、
5,800億円を予想



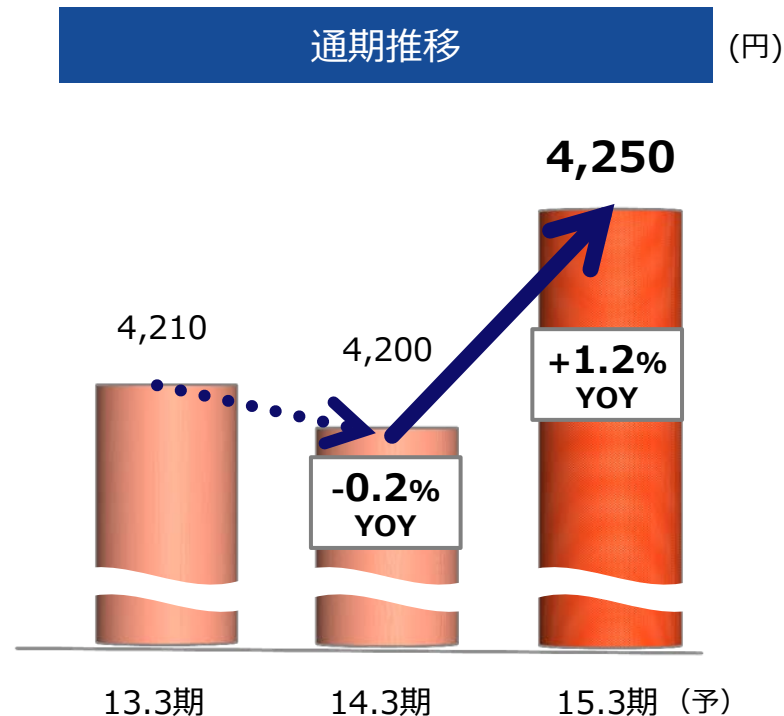
1株当たり配当 (DPS^注)

YOYで+23%成長



au通信ARPU

通期でYOY反転へ



*au通信ARPU=[音声(割引前)]+[データ]-[割引適用額]

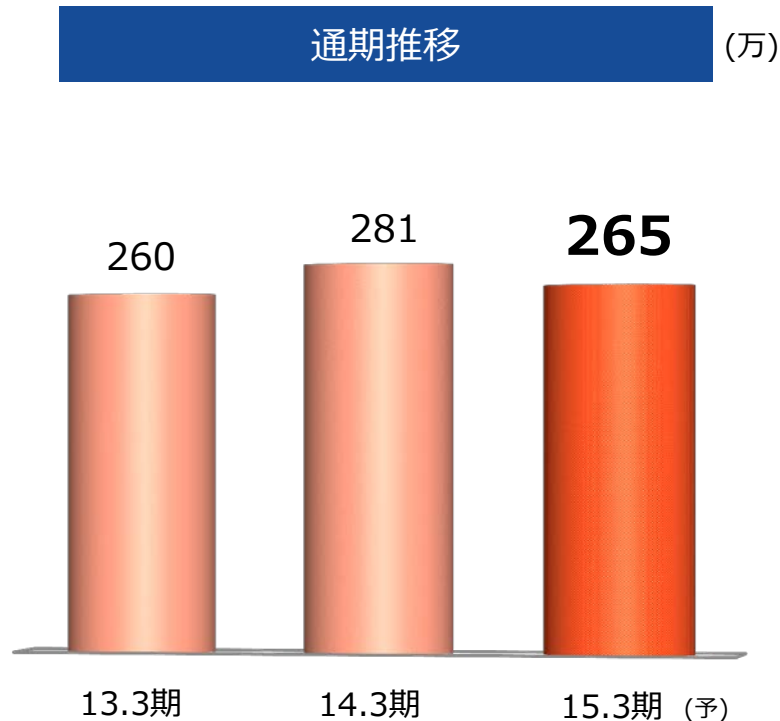
*au通信ARPUの定義を改訂。本スライドのグラフおよび数値は、改訂後の値。詳細はスライド35参照。

(改訂前) タブレット、モジュールを除く、モバイル累計契約数。→ (改訂後) データ専用端末、タブレット、モジュールを除く、モバイル累計契約数

au純増数

265万の純増を目指す

累計ベースでは、
YOY +6.5%の拡大



3. 新たな成長ステージを目指す

成長基盤の確立

新たな成長ステージに向けて、成長基盤を確立

顧客基盤

au 4,000万突破

auスマートパス
1,000万突破

インフラ基盤

au 4G LTE 800MHzプラチナバンド^{注1}
実人口カバー率^{注2}

99%達成

2つの基盤を基に、新たな成長ステージへ

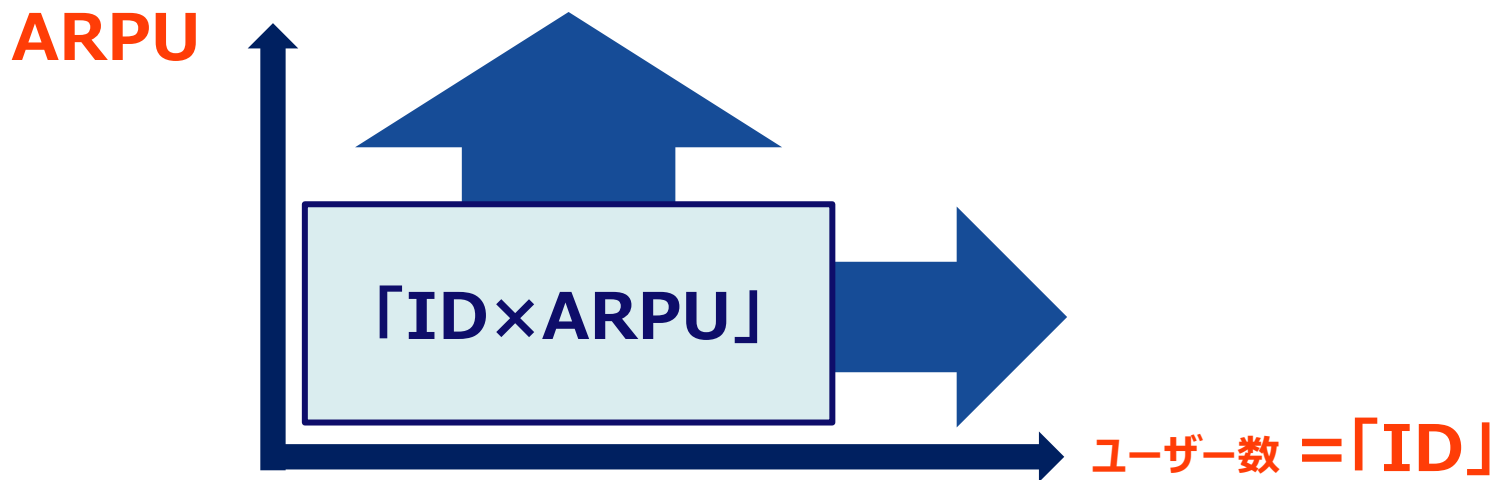
注1) 対応機種：4G LTE対応のAndroid™、iPhone 5s、iPhone 5c、iPad Air、iPad mini Retina™ イブレイブル

注2) 全国を500m四方に区分したメッシュのうち当社サービスエリアに該当するメッシュに含まれる人口の総人口に対する割合

成長のキーファクター

本格的なスマートデバイス時代の到来にあたり、
ユーザー1人当たりのマルチデバイス化が加速。

「ID×ARPU^注」の拡大を目指す



注) ご利用のデバイス全体の「通信料 + 付加価値サービス収入」合計



さらなる顧客基盤・IDの拡大

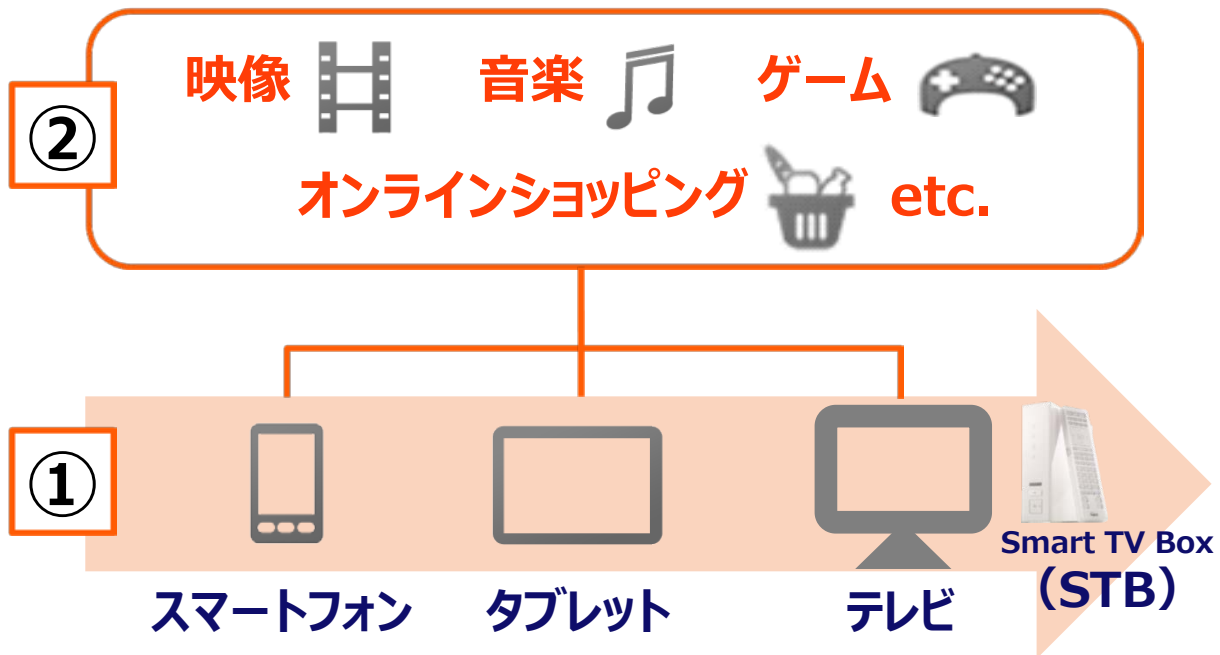
提携パートナーとともに顧客タッチポイントを拡大



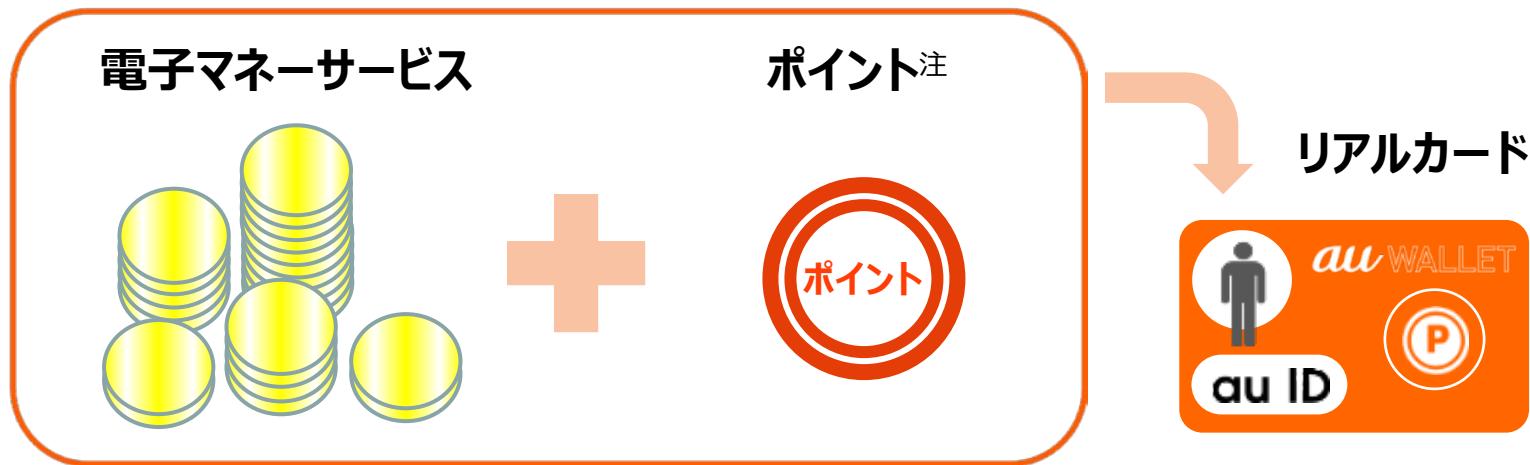
注1) 2014年3月末時点

注2) 2013年12月末時点のauスマートバリュー対象世帯数 (KDDI集計ベース)

①マルチデバイス化と②付加価値サービス利用を促進



2014年夏から、新たに電子マネーカード事業に進出。 ポイントとリアルカードにより利用しやすい環境に



注) 2014年5月「au WALLET ポイントプログラム」開始予定。au携帯電話の月額利用料（一部除く）および「au WALLETカード」のご利用額等に応じて、au IDごとに「WALLETポイント」がたまり、MasterCard®加盟店（一部店舗除く）での利用、au通信料等への充当（2014年8月以降予定）が可能

au WALLETによりパートナーとともに新経済圏を創出

オンラインサービス



リアル店舗・リアルサービスへ

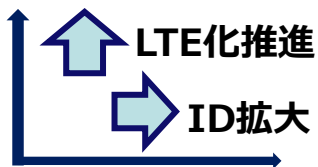


日本国内最大級のサーバー管理型電子マネーである「WebMoney」の残高管理・決済システムを活用



世界3,810万のMasterCard®加盟店
(参考：Nilson Report 2014年3月号)

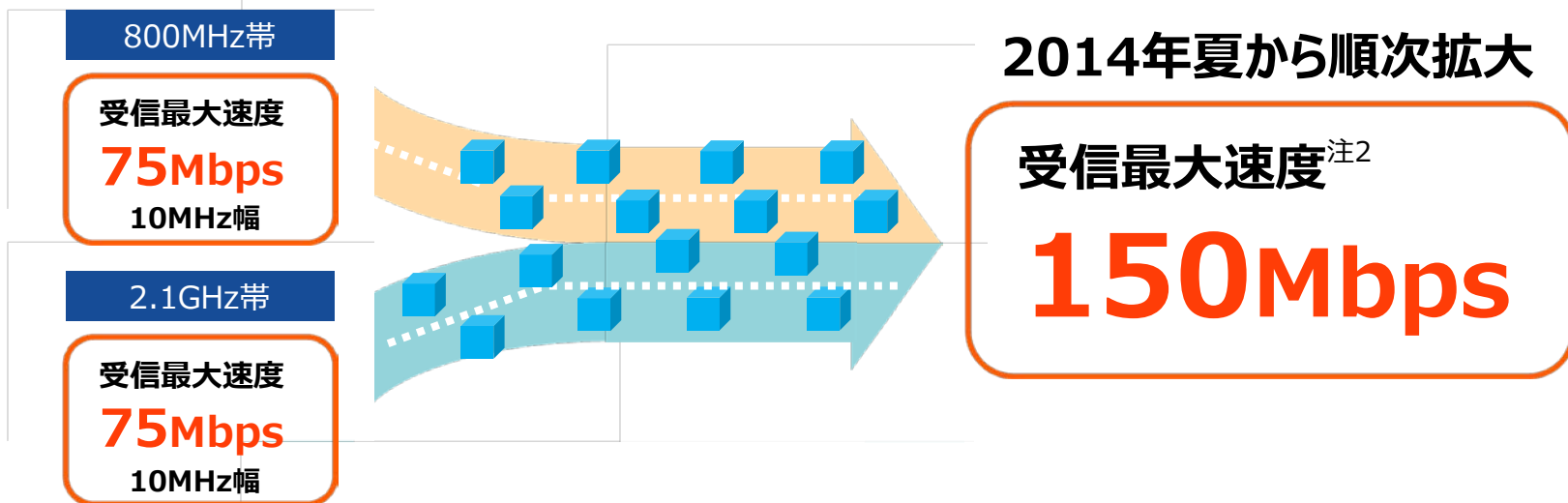
*一部の店舗・サービスは対象外です



LTE-Advanced (キャリアアグリゲーション)

キャリアアグリゲーション^{注1}により超高速通信が可能に^{注2}

(Carrier Aggregation: CA)



*記載の速度は技術規格上の最大値であり、実使用速度を示すものではありません。お客様のご利用環境、回線の状況により大幅に低下する場合があります（ベストエフォートサービス）

注1) 複数の周波数ブロックを束ね、仮想的に広帯域化することで高速通信を行うLTE-Advancedの通信技術

注2) 800MHz帯/2.1GHz帯のそれぞれの帯域幅が10MHzの場合のイメージ図です。800MHz帯/2.1GHz帯エリアのすべてでキャリアアグリゲーションが可能となる訳ではありません。対象機種はキャリアアグリゲーション（CA）対応のモデルに限ります。ごく一部エリアより順次拡大予定

グローバル戦略

ICTで事業拡大、コンシューマでさらなる成長へ

ICT

～成長を支える礎～

データセンター

ネットワーク

クラウド/SI



データセンターを核とした
事業モデルの更なる強化

コンシューマ

～規模拡大のエンジン～

米国MVNO

モンゴル携帯電話事業

新興国・アジアでの
事業拡大を目指す

まとめ

14.3期

- 連結営業利益は、YOY+29%
- 1株当たり配当は、YOY+44%
- au通信ARPUは、
四半期ベースでYOY反転

15.3期 (予)

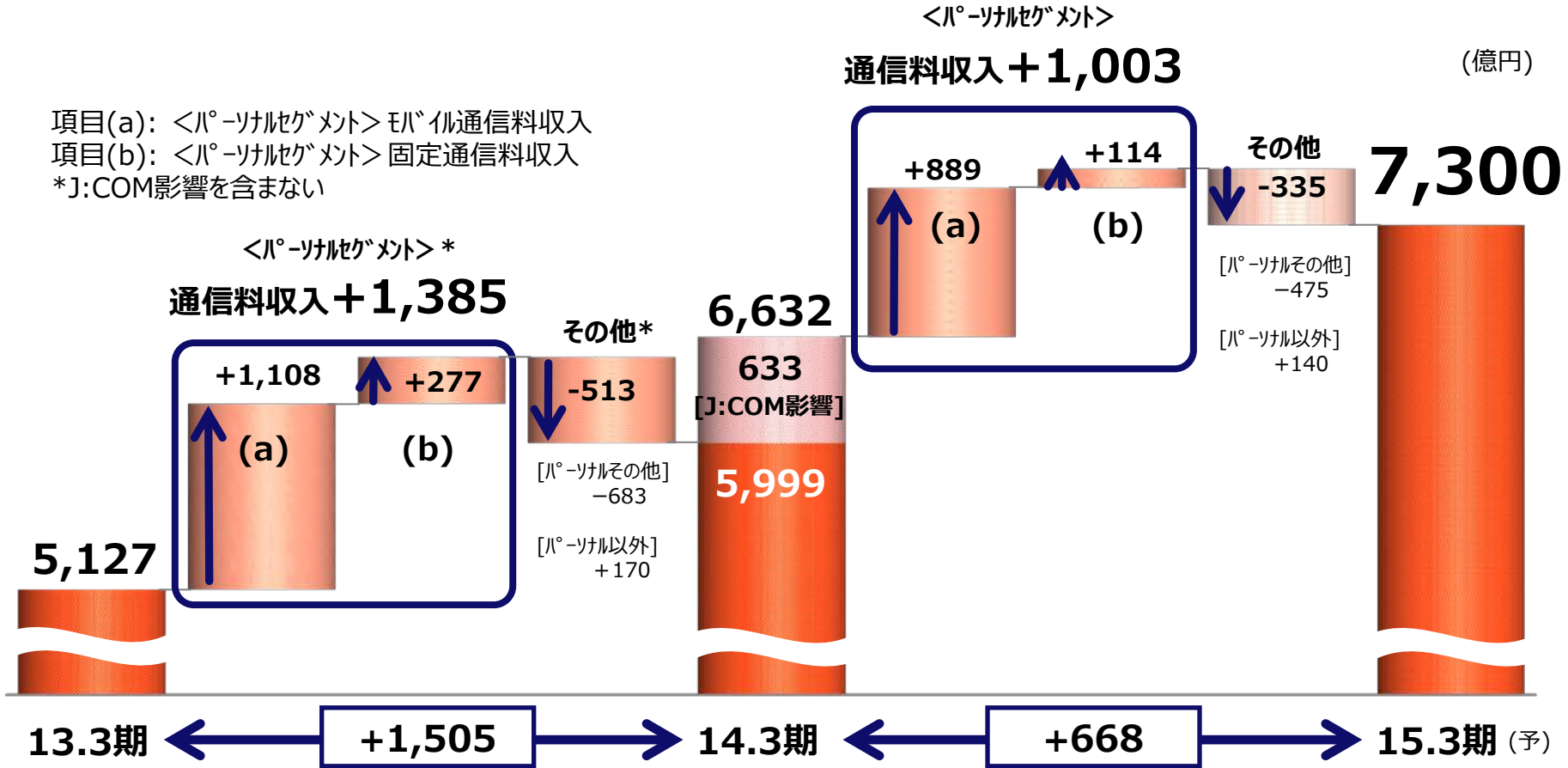
- 連結営業利益は、YOY+10%
- 1株当たり配当は、YOY+23%
- au通信ARPUは、
通期ベースでYOY反転へ
- 「ID×ARPU」の拡大を
ベースとした増収に注力

**2桁の利益成長を着実に達成。
持続的な利益成長とともに、新たな成長ステージへ**

◆ Appendix

営業利益 増益要因

項目(a): <パ°-ソナルゲメント> モバ°ル通信料収入
 項目(b): <パ°-ソナルゲメント> 固定通信料収入
 *J:COM影響を含まない



(億円)

	13.3期	14.3期	15.3期(予)	前期比
営業収益	36,623	43,336	46,000	+ 6.1%
営業利益	5,127	6,632	7,300	+ 10.1%
営業利益率	14.0%	15.3%	15.9%	--
経常利益	5,144	6,629	7,350	+ 10.9%
当期純利益	2,415	3,220	4,240	+ 31.7%
EBITDA	9,596	11,861	12,780	+ 7.8%
EBITDAマージン	26.2%	27.4%	27.8%	--
FCF	509	2,260	2,450	+ 8.4%

セグメント業績一覧

セグメント		13.3期	14.3期	15.3期(予)	前期比
パーソナル	営業収益 (億円)	28,380	33,679	35,600	+ 5.7%
	営業利益 (億円)	3,786	5,072	5,600	+ 10.4%
	営業利益率	13.3%	15.1%	15.7%	--
	EBITDA (億円)	7,510	9,557	10,260	+ 7.4%
	EBITDAマージン	26.5%	28.4%	28.8%	--
バリュー	営業収益 (億円)	1,419	2,125	2,400	+ 12.9%
	営業利益 (億円)	419	516	570	+ 10.4%
	営業利益率	29.5%	24.3%	23.8%	--
	EBITDA (億円)	518	645	720	+ 11.6%
	EBITDAマージン	36.5%	30.3%	30.0%	--

セグメント業績一覧

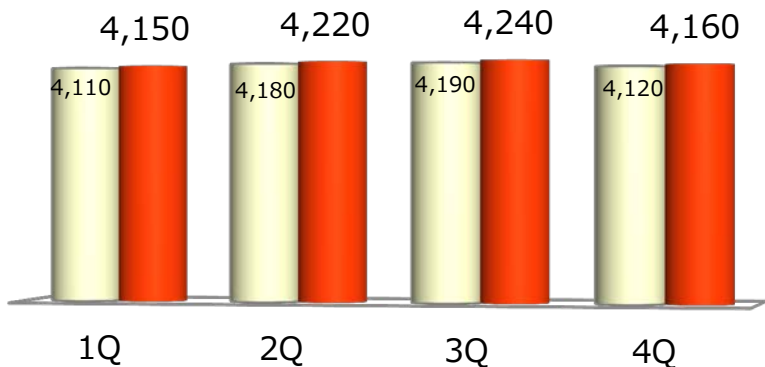
セグメント		13.3期	14.3期	15.3期(予)	前期比
ビジネス	営業収益 (億円)	6,383	6,749	6,900	+ 2.2%
	営業利益 (億円)	798	865	900	+ 4.1%
	営業利益率	12.5%	12.8%	13.0%	--
	EBITDA (億円)	1,288	1,307	1,370	+ 4.8%
	EBITDAマージン	20.2%	19.4%	19.9%	--
グローバル	営業収益 (億円)	2,073	2,636	3,100	+ 17.6%
	営業利益 (億円)	78	114	140	+ 22.7%
	営業利益率	3.8%	4.3%	4.5%	--
	EBITDA (億円)	213	273	320	+ 17.3%
	EBITDAマージン	10.3%	10.4%	10.3%	--

KPI定義改訂について

15.3期より、au通信ARPU、付加価値ARPU、au解約率、およびスマートフォン浸透率等の定義を改訂。
 (改訂前) タブレット、モジュールを除く、モバイル累計契約数。→ (改訂後) データ専用端末、タブレット、モジュールを除く、モバイル累計契約数。

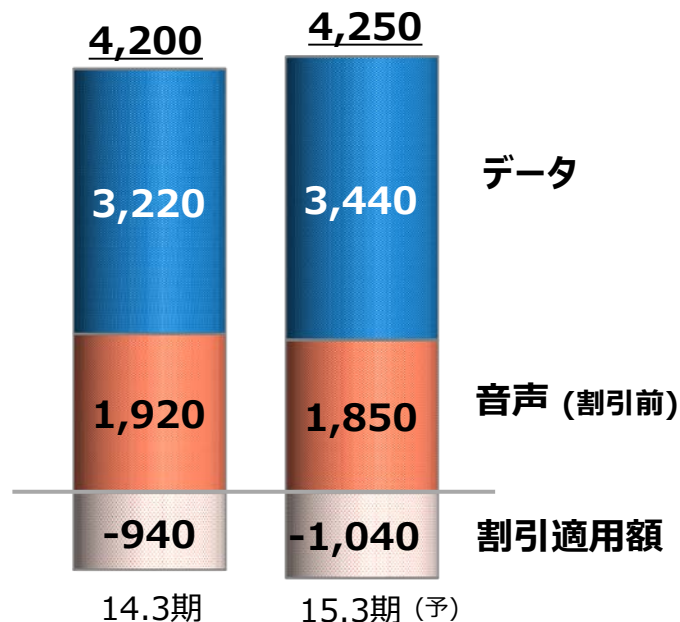
au通信ARPU 改訂影響 (14.3期実績) (円)

□ 従来定義 ■ 新定義



	1Q	2Q	3Q	4Q
従来定義	4,110	4,180	4,190	4,120
新定義	4,150	4,220	4,240	4,160
差異	+40	+40	+50	+40

【新定義】 au通信ARPU 内訳 (円)



Designing The Future

KDDI